

つみきのくらし

日々の暮らしの中で、こども園つみきとして大切にしたいことや、こどもとおとなの素敵な姿をお伝えしていきます。



大浦 久子

失敗は成功の母！

NO.37

昔から伝えられていることわざに『失敗は成功の母』があります。失敗の教訓を生かして取り組めば成功に結び付くということです。発明王トーマス・エジソンはいくつもの発明をしてきましたが、その裏には約2000回の試行錯誤・失敗があったそうです。つまり諦めず取り組み続ける限りその過程での失敗は成功への一歩になります。失敗に対する見方を変えて、何度でも挑戦することが大事ですね。

こども園つみきでは、乳幼児の遊びを通して、子どもたちが自ら見たり触ったり感じたりすることでの気付き（不思議に思ったり、面白がったり）をその子の経験として増やして欲しいという願いから、園の教育・保育目標のひとつに『あそびごち』～僕らの挑戦～としてあげています。

やってみたいと思うことを存分にやってみる→何度もチャレンジする→いろんな感情や思考に変化→周りを見て考える→繰り返しやってみる→できた！→なんだ、そういうことか…→その子のころ・あたま・からだの経験値がどんどん上がっていきます。

その積み重ねが『非認知能力』（社会情緒スキル）の構築に繋がることで、これからの予測しにくい近い未来でもたくましく対応できる人になっていくと日本の未来はいつか、石破総理の発言にあった『楽しい日本』も訪れるかもしれませんね。

エピソード紹介

きりんぐみの脱穀体験でのハプニング！
今回の学びの主演は**大人**です！

12月6日きりん組は収穫したお米の脱穀体験をしました。



「どうやったらできるの？」「食べてみたい！」「どんな味かな？」子どもたちと好奇心やワクワクを共有しながらポップライスを作ってみよう！とチャレンジが始まりました。お米がなくなると、子どもたちが脱穀をしてお米を用意してくれました！ありがとう

お米の様子を観察すると、佐藤栄養士は「それはポップライスですね、作ったことないけど。」…ポップライス？お米でもポップコーンみたいになるんだ～。担任は子どもたちにこの出来事を話しました。

たき火で温まっていた子どもたちがいなくなった後に大人たちが誤ってお米の一部を火の中にこぼしてしまいました…。

「あ～あ…」、しばらくして「パンパン！」とはじける音がしました。よく見ると、お米が小さなポップコーンのように姿を変えていたのです。

「これ、食べられそうじゃない？」この言葉から大人たち探求は次のステップへ進みました。



洗って干した玄米をフライパンで炒ってみましたが、煙が出て焦げるだけ…臭くて失敗です…。



大人たち（佐藤栄養士も含む）は自宅でも油を敷いて炒るなど試作を繰り返しました。お米がはじけるには急激な温度変化が必要か…？ならば「油で揚げてみよう！」と次のチャレンジです。



わあ、できてるー



【ご報告】

先日猪師さんから鯉のぼりを寄贈していただきました。感謝の気持ちと共に、春の大空に泳ぐ鯉の姿をお披露目いたします。ありがとうございました！



いくつになっても試行錯誤していくことは大事だと思います。この経験が知識となり、繰り返すことで『生きる力』の糧になるということを自分たちの姿で見せてくれた大人たちの紹介でした！

子どもたちが見守るなかの挑戦です！「パンパン！」とはじける音が聞こえ、蓋を開けるときれいなはじけたポップライスができましたー！